

製品名: CD103 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe87325

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:130 kDa; Observed MW:150 kDa

抗原情報

遺伝子名	CD103
別名	CD103; HUMINAE
遺伝子ID	3682
SwissProt ID	P38570
免疫原	ヒトCD103の合成ペプチド

背景

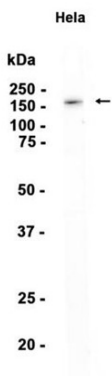
インテグリンは、 α 鎖と β 鎖からなるヘテロ二量体の膜貫通タンパク質です。この遺伝子は、1ドメインを含む α インテグリンをコー

ドしており、 α インテグリンは細胞外ドメインで翻訳後切断を受け、ジスルフィド結合した重鎖と軽鎖を生成します。 $\beta 7$ インテグリンと結合することで、このタンパク質はヒト粘膜リンパ球-1抗原として知られるEカドヘリン結合インテグリンを形成します。このタンパク質はヒト腸管上皮内リンパ球 (IEL) で優先的に発現しており、接着における役割に加えて、IEL活性化の補助分子として機能する可能性があります。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



CD103 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。